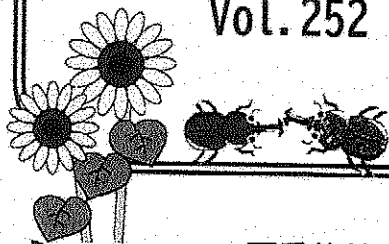


2026年8月号
Vol.252

arch-tsushin

あーち通信



夏季休館のお知らせ

8月9日(日)~17日(月)

上記の期間、あーちはお休みさせていただきます



夏休みイベント第2弾

「音絵」～音楽を聴いて描いてみよう～

ピアノの演奏を聴きながら、自由に絵を描きます。絵具や色鉛筆、小さいお子さんには水で落とせるクレヨンもあります。おとなも子どもも音のイメージを膨らませて、思い思いに描いてみましょう。



日時:8月21日(金) 11:00~12:00

場所:こらぼ・あーち



絵本の世界へようこそ

「14ひきのせんたく」

作・絵:いわむら かずお

出版社:童心社 1990年5月発行



暑い夏の朝、シャツもパンツもシーツもパジャマも みんなまとめて せんたくしましょと、ねずみの家族は谷川へ向かいます。森の中の深い緑、生い茂る草花の明るい緑、川の流れる透明感のあるエメラルドグリーン、どのページも多様な緑が美しく、川辺の風景は、白く眩しい夏の日差しとひんやりとした水の冷たさを感じさせます。

みどりの風に吹かれ、夏の太陽に照らされた洗濯物は、きっとパリッと乾いておひさまの匂いがすることでしょう。

うんざりするような暑い日が続きますが、このお話のように、さあ今日は気持ちよくお洗濯しましょ！

(あーちスタッフ 山名)

えんじくる君Ⅰ by Bon

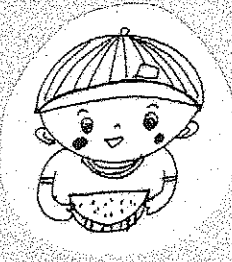
世界 広げたい



学童期の学校



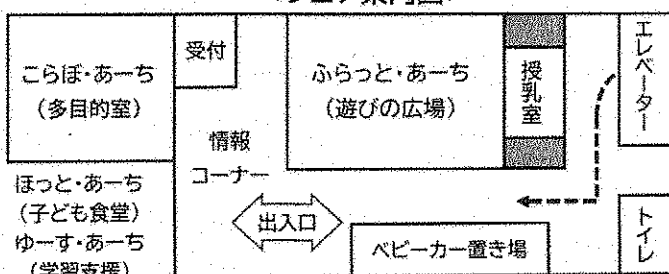
8 月 予 定 表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	土		あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー あらかると音楽あそび 14:30~15:00
2	日	休 館	
3	月		
4	火		
5	水	月イチwith 10:30~12:00	
6	木		ベビーマッサージ 14:00~15:00
7	金	よる・あーち 17:00~19:20	健康あーち(相談) 午前中
8	土	おはなしの国 11:00~11:30 プラレール広場 12:00~16:00	
9	日	 夏 季 休 館 (8/9~17) 	
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		ベビーマッサージ 14:00~15:00
20	木		遊びを通じて育てる考える力 11:00~11:30
21	金	音絵～音楽を聴いて描いてみよう～ 11:00~12:00 よる・あーち 17:00~19:20	
22	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
23	日	休 館	
24	月		
25	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	ふれあい体操1.2.3! 11:00~11:30
26	水		
27	木		
28	金	よる・あーち 17:00~19:20	わらべうたベビーマッサージ 11:00~11:30
29	土	プラレール広場 10:30~16:00	
30	日	休 館	
31	月		

- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージ・わらべうたベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルとバスタオルを1枚お持ちください。また、初めてあーちを利用される方は受付に10分程かかるため、早めにご来館ください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

保健師・保育士:火・金(全日) 水・木(午前)
助産師:土曜(不定期)

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★遊びを通じて育てる考える力・日々の親子の関わり方について、遊びを通してお話しします。
- ★あーちクローゼット…着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみ可)
- ★あーち人形劇団「むー」…自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ふれあい体操 1.2.3!…遊んで育つカラダづくり♪ お子さんと一緒に身体を動かして楽しみましょう。
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★わらべうたベビーマッサージ…わらべうたを歌いながらマッサージして、ママも赤ちゃんもリラックス。

<あーち利用のご案内>

- 利用時間** 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
 ※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
 金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)
- 注意事項** オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
 託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
 未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



私は、「日本語会話クラブ」というものをオンラインで月に1回開いています。今年で6年目です。そこに、「今、ねんね大戦争から生還してきました。」と、1人の生徒さんが少し遅れて入ってきました。彼には、お子さんが2人いるのですが、この会話クラブに参加する前に、子どもを寝かしつけてから参加してきたので、こう言ったんです。“I survived the great sleep war.” と英語にすると、このほほえましさにZoomのなかのみんなが笑っていました。お国は違えど、子どもを寝かしつける時の大変さは、この言葉でとても理解できます。英語には「ねんね大戦争」という言い方はありませんが、“I survived the great sleep war.” と言えば、子育て経験のある人なら思わず笑って、「お疲れさま！」と言いたくなりますね。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
 〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
 TEL&FAX 078-805-6090
 HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
 開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
 TEL 078-803-7970
 FAX 078-803-7971

第6回 この冬楽しかったこと

今日は、もう随分前に冬は過ぎ去ってしまいましたが、勤めている福祉施設(放課後等デイサービス)で、私がこの冬楽しかった出来事の1つを綴りたいと思います。寒いあの日を思い出し少し涼しい気持ちになりながら読んでいただけたらと思います。

雪が溶け、少し暖かさを感じるようになったある日のこと。

「今日焚火したい」

たけるくん(仮名)が言いました。

寒い冬、焚火はみんなが大好きな活動の1つです。焚火の楽しみ方はそれぞれで、自分で薪を組むのが好きな子、そーっとそーっと薪をくべることが好きな子、ぱちぱちじゅーという音と揺れる火をじっくりと楽しむ子、色々な味わい方があります。火が大きくなると、焚火の周りで歌ったり、踊ったり、何かを焼いて食べたり、また新たな楽しみが広がります。

この日、私自身は、普段は他の子どもたちと一緒に過ごしていることが多く、たけるくんと2人で何かをするのはほとんど初めてのことでした。まだあまり関係ができていない子と、どんな風に過ごすのか。いつも悩むことの1つです。その子のことを知るためにまずはとことん付き合ってみたり、何かこちらから意図的に発信してみたり…。わからないことばかりなので、色んなことをやってみては振り返るしかないのですが、その日は、とにかくたけるくんと焚火にすべてを委ねてみることにしました。

早速たけるくんと薪を集めて、焚火をはじめました。その日は温かくなったことで花粉が飛び始めており、2人でぐしゅぐしゅと鼻をすすりながらの作業でした。加えて、少し風があり、湿ってもあったので、中々火が付きにくかったのですが、たけるくんが粘り強く、何度も何度もマッチを擦ったり、角度を調整したりして、やっと火がつきました。焚火の楽しみ方は人それぞれですが、たけるくんは、色々な発見をして、それを味わう名人でした。外枠として組んだレンガに雨が落ちても、温かさですぐに蒸発すること、木の長い棒が、みるみるうちに燃えて短くなることなど、色々な発見をして、それをじっと観察していました。たけるくんの

そんな発見とその味わい方が面白く、私も一緒に楽しんでいました。そんな時です。

「ぐしゅ～ん！」

たけるくんが大きなくしゃみをしました。慌てて、「ティッシュを取って来るね」と言いかけたのですが、丁度いいところに、紙が！(焚火の火おこしで使った新聞紙。)新聞紙で鼻水を拭きとり、2人で、それを焚火で燃やしてしまうことにしました。

「鼻水焼き…?!だね(笑)」

と私が言うと

「ふふっ」

とたけるくんが笑い、焚火に手を当てながら言いました。

「鼻水焼き、燃やせるししかもあったかいよ～」

その後も、たけるくんは、鼻をかむたびに、焚火に投げ入れます。その度に2人でふふっと笑い合ったのでした。通りがかった人からも声がかかりました。

「今日も何か焼いてるんですか～？」

「鼻水…です(笑)」

日常の中の些細な出来事ですが、この出来事について、私はこの日の記録の最後にこのように書いていました。

“たけるさんらしい時間の流れと楽しみ方に包まれたとても嬉しい時間だった。”

子どもたちと一緒に活動する時に、どうしたら一緒に楽しめるかをじっくりと考えながら過ごすことが多いのですが、この日のように、その子やその状況に委ねる中で偶発的に生まれた何気ない時間が、強烈に心に残ることもあります。「鼻水焼き」も、もしも他の子と同じ状況に出くわしたときには、また違ったものが生まれていたような気がするのです。たけるさんだからこそ生まれた私の応答で、たけるさんとだからこそ広がった、少し汚いけれどもなんだかふふっと笑いが止まらなくなる、焚火の新しい楽しみ方だったように思います。また、お互いの自分らしさのようなものが混ざりあいながら楽しい時間を共有できたように感じられたからこそ、私は、この日のことが印象に残っているのかもしれません。

(あじさい)

